

# 雄物川(下流)の現状

～ 365日の安全安心のために ～

## ■堤防の維持管理

**堤防斜面補修(芝張り替え)**  
洪水時の流水から堤防を守るため堤防斜面に芝を張っていますが、有害植生(イタドリ等)の繁茂によって芝が枯れたり降雨や流水による浸食を受けている箇所は、洪水時に損傷が拡大し決壊に繋がるおそれがあります。そのため堤防の機能を維持し災害を未然に防ぐことを目的に堤防斜面の補修(芝を張り替え)を行っています。



イタドリは、草丈が高く広葉が密集して日光を遮り芝を枯死させます。更に、根が太く四方に深く長く伸び、堤防の空洞化・裸地化を進行させ、堤防を弱体化させます。



**堤防除草**  
堤防は、洪水が河川外に流出(はん濫)することを防止し、流域の人々の生命や財産を守るための重要な施設です。そのため堤防の損傷・変状等をいち早く発見し、また、病害虫の発生等を防ぐことを目的に堤防除草を行っています。



■堤防除草により、早期に堤防の亀裂や斜面の崩れ等を発見し補修を行います。更に、病害虫の発生を防ぐことにも繋がります。

## ▶ 植生不良部の芝張替



## ■堤防の維持管理

## ■河川管理と河川愛護

## ■環境保全(水質監視)



油や有害物質などが河川に流出した場合、自然環境の悪化、更には上水の取水など、日常生活にも影響を与えるため、定期的な水質調査を行い水質事故等の発生防止に努めています。

## ■環境保全

## ■河川管理施設の補修

洪水時の水害(はん濫)を軽減させる役割を担う水門・護岸等の河川管理施設は常に正常に機能するよう定期的に点検を行っています。また、度重なる洪水や老朽化によって損傷を受けている施設については、計画的に補修を行い洪水に備えています。



## ■河川管理施設の補修

## ■日常の河川管理と河川愛護

不法投棄や不法係留等の行為は河川環境の悪化に繋がるだけでなく、洪水時に流下の支障となり被害拡大の要因になります。そういった不法行為や危険箇所、河川管理施設の状況を把握し、適正な河川管理を実施するため定期的にパトロールを行っています。また、河川が地域の共通財産であるという認識のもと、市民と協力した河川敷のクリーンアップを行うなど河川愛護活動も積極的に実施しています。



国土交通省 管理区間(河口～秋田市雄和): (右岸) 30.15km (左岸) 33.95km